

# I 調査の概要

## 1 調査の目的

(仮称) 川口市子ども計画策定のための基礎資料として、調査を実施したものです。

## 2 調査対象

子ども・子育て支援に関するニーズ調査  
市内在住の就学前児童、小学生の保護者

子どもの生活実態調査  
市内在住の就学前児童、小学生、中学2年生の保護者及び小学5年生、中学2年生本人

子ども・若者意識調査  
市内の小学校に通う小学5年生、市内の中学校に通う中学2年生、川口市立高等学校に通う高校2年生、18歳から29歳の市民

## 3 調査期間

令和5年12月から令和6年1月

## 4 調査方法

郵送配布・郵送回収及びインターネット回答

## 5 回収状況

### 【子ども・子育て支援に関するニーズ調査】

	配布数	有効回答数	有効回答率
就学前保護者	3,800 通	1,472 通	38.7%
小学生保護者	3,800 通	1,553 通	40.9%

### 【子どもの生活実態調査】

	配布数	有効回答数	有効回答率
小学5年生本人	636 通	219 通	34.4%
中学2年生本人	650 通	227 通	34.9%
就学前保護者	3,800 通 (※1)	1,472 通	38.7%
小学生保護者	3,800 通 (※1)	1,553 通	40.9%
中学生保護者	650 通	261 通	40.2%

※1 対象者は子ども・子育て支援に関するニーズ調査と同じ

### 【子ども・若者意識調査】

	配布数	有効回答数	有効回答率
小学生	4,757 通 (※2)	3,543 通	74.5%
中学生	4,563 通 (※3)	2,866 通	62.8%
高校生	446 通 (※4)	412 通	92.4%
若者	5,000 通	974 通	19.5%

※2 市内の小学校に通う小学5年生全員

※3 市内の中学校に通う中学2年生全員

※4 川口市立高等学校に通う高校2年生全員

## 6 調査結果の表示方法

- ・回答は各質問の回答者数を基数とした百分率(%)で示してあります。また、小数点以下第2位を四捨五入しているため、内訳の合計が100.0%にならない場合があります。
- ・複数回答が可能な設問の場合、回答者が全体に対してどのくらいの比率であるかという見方になるため、回答比率の合計が100.0%を超える場合があります。
- ・クロス集計の場合、無回答を排除しているため、クロス集計の有効回答数の合計と単純集計(全体)の有効回答数が合致しないことがあります。なお、クロス集計とは、複数項目の組み合わせで分類した集計のことで、複数の質問項目を交差して並べ、表やグラフを作成することにより、その相互の関係を明らかにするための集計方法です。
- ・子どもの生活実態調査における、小学生保護者の集計については、平成30年度調査と比較するため小学5年生保護者を抽出し集計をしています。

## 7 生活困難層の算出方法

本報告書においては、国の国民生活基礎調査における貧困線を参考に、学校調査の結果に関して、「生活困難層」を定義し、分析を行っています。

貧困線とは、等価可処分所得（世帯の可処分所得（収入から税金・社会保険料等を除いた、いわゆる手取り収入）を世帯人員の平方根で割って調整した所得）の中央値の半分の額を指します。直近の国民生活基礎調査（令和4年調査）における令和3年の貧困線は127万円となっています。

本調査（以後、本ページ内では学校調査を指す）においては、世帯の昨年1年間（令和5年1月～12月）の手取り収入を18段階の選択式で聞いています。各世帯人員別の「生活困難層」に該当する選択肢は下記の通りです。

### 【本調査における生活困難層の定義】

人員	本調査における選択肢	(参考) 国民生活基礎調査に基づく貧困線
2人	～175万円未満	173万円
3人	～210万円未満	211万円
4人	～245万円未満	244万円
5人	～275万円未満	273万円
6人	～300万円未満	299万円
7人	～300万円未満	323万円
8人	～350万円未満	345万円
9人	～350万円未満	366万円

例：世帯人員2人の場合…保護者が、「～175万円未満」までの選択肢を選んだ世帯を「生活困難層」として取り扱います。

本調査における生活困難層の割合は、小学5年生で4.6%、中学2年生で3.5%となっています。ただし、本調査における手取り収入の聞き方については、国の国民生活基礎調査とは異なるものとなっています。そのため、本調査における生活困難層の割合を、国の貧困率と単純に比較することはできないことに注意が必要です。また、今回の「生活困難層」の定義については、本報告書における分析のみで用いるものです。

### 【本調査における対象ごとの割合】

	小学5年生		中学2年生	
	有効回収数	全体に占める割合	有効回収数	全体に占める割合
生活困難層	10件	4.6%	8件	3.5%
非生活困難層	179件	81.7%	193件	85.0%
手取り収入について無回答	30件	13.7%	26件	11.5%
合計	219件	100.0%	227件	100.0%